

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：10名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和4年12月定例会の会議録は準備出来次第となります)



災害への対応を考える

西下 敦基 (市民ネット)



◎ 先進自治体では災害時の情報収集・発信の手段として「ソーシャル防災」と呼ばれるSNSを活用した取り組みがされている。自然災害などのリスクが発生した場合にAが正誤を分析しリアルタイムで情報を得るA-1情報サービスの活用は。

◎ 災害時には情報収集や整理、被害状況の確認が課題の一つである。試験的に活用したところ課題も見えてきたため、研究を進め本市にあったシステムの導入を目指していく。

◎ 土砂災害の被災支援について、愛知県犬山市では住民の生命の保護及び負担軽減を図るため、居住家屋等に流入した土砂等を撤去するものに対して、費用の一部を補助する制度がある。このような制度創設の検討は。

◎ 大規模な災害では、国のガイドラインに基づき民地内の土砂撤去が可能だが、小規模な土砂災害では補助制度がないのが現状であるが、先進地を参考に調査研究を進めていく。

◎ 大雨により多くの箇所です冠水や土砂崩れ等で道路の通行に影響があったが、自治会などで独自に通行を制限していくなどの連携はできないか。

◎ 道路管理者が車両等の通行制限を実施すべきだが、行政のみで全てを対応するには限界があるため、一部の市道ではバリケードを地元自治会に貸与し通行制限を実施している。このような地域と連携した取り組みを関係機関と協議し進めていく。

◎ 近隣市では、災害時に井戸を活用した生活用水確保のため協定を結び備えている。生活用水として利用するために、井戸の調査や活用について伺う。

◎ 生活用水として井戸の活用がどのようになれるか検討していく。

